

金曜日、先生は初めての経験をしました。朝、登校してくるときに見た人もいるかも知れませんが、学校の東側に田んぼが広がっています。その田んぼの田植えを経験しました。5年生と6年生の子たちと一緒に、水に入って、田に苗を植えていきました。実は、先生の実家は農家です。子どもの頃から米を作ったり、野菜を作ったりしていました。小さい頃の記憶に、田植えの日になると、朝早くから親戚の人たちが集まってきて、大勢で田植えをした風景が頭にあります。昔は手で植えていたんだけど、今は機械になって、便利になりました。いませんよね。知っている人がいるかも知れないけれど、田植えをするときはこうやって腰をかがめた姿勢でずっと植えていくので、腰がぱんぱんになってしまってすごく大変なんです。今は機械になって、すごく楽ちんです。先生のお父さんも「昔は大変だったけど、今は機械になって楽ちんだぞ」って、よく言います。でも、



実際に手で植えて大変だと言うことを経験することはすごく大切なことだと思います。大変な作業だから、お互いの協力やつながりをすごく大切にしていました。それは、今でもすごく大切だと思います。先週、5・6年生の人たちがプール掃除をしてくれました。見たらすごくきれいになっていました。清掃前には底の方に、緑色の汚い塊が貯まっていた。それを全部取って、きれいにして流してくれました。みんなが気持ちよく入れるように、そういう思いでやってくれました。それぞれの役割をみんなで分けてやってくれました。一人でできないこともみんなでやればできる。他にもみんなで協力してできることがあると思います。そういうことを探して、見つけたらやってみて下さい。

